

# 包括だより 第17号



新たな年度を迎え、安芸高田市地域包括支援センターは、市より委託を受けて7年が経過しました。

これからも総合相談窓口として、地域で暮らす高齢者の皆さまが健やかに、住み慣れた地域で生活が続けられるよう支援していきます。引き続きよろしく願いいたします。

## 令和3年度の実績について

今回は、令和3年度に皆様から寄せられた相談内容について、記載させていただきます。詳細内容は、以下の通りです。

相談受付件数は、延べ件数で596件の相談があり、電話440件、来所140件、外出先で相談16件となっています。

相談後には、必要に応じて自宅訪問や関係機関との連携など、状況に応じた対応をしております。

◎重複計上あり

### ◎相談受付件数（実績）

電話	440
来所	140
外出先で相談	16
その他（会議等）	0
合計	596

### ◎相談内容

在宅介護	47	福祉用具・住宅改修	21
介護保険	412	精神・健康問題	18
認知症	33	生活困窮	8
高齢者虐待	6	公的福祉サービス	17
成年後見	3	その他	31

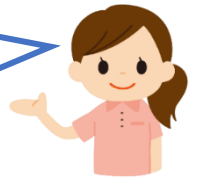
### 寄せられた相談内容例

- 介護保険・・・難病があり、立ち上がりや歩行が難しくなっている。介護保険で手助けしてもらいたい。
- 認知症・・・物忘れの進行や、見えないものが見えていると訴えており、対応に苦慮している。対応方法などについて相談にのってほしい。
- 配達弁当・・・治療食が必要だが、作れないので配達してもらえ業者を教えてください。 など

相談をお待ちしております。お気軽にご相談ください！

# 認知症

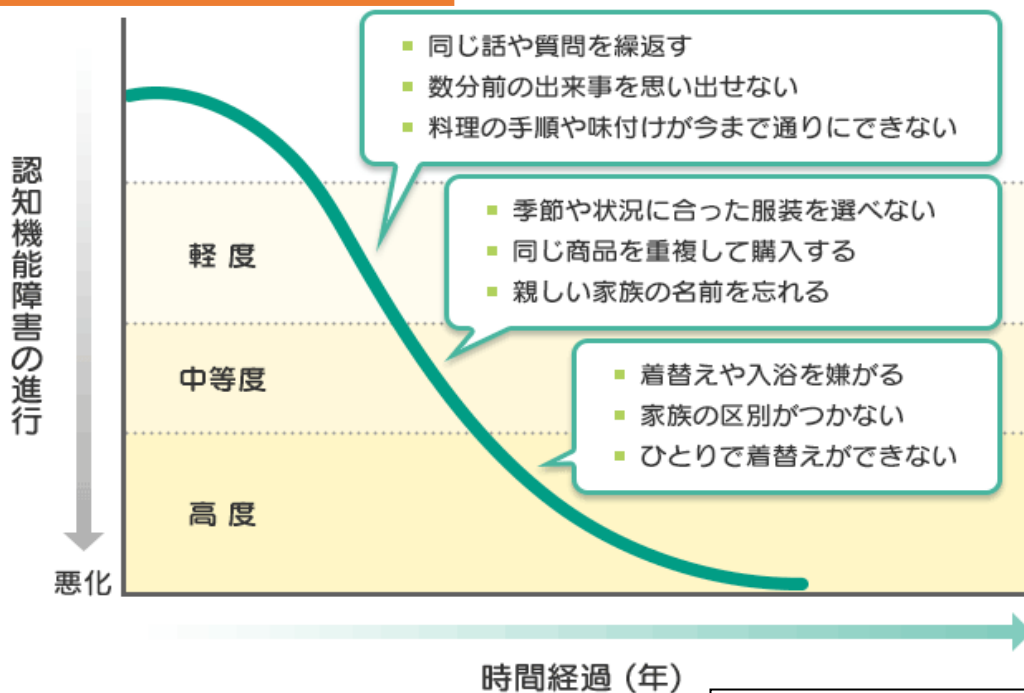
誰もが気になるテーマ『認知症について』昨年度に引き続き掲載します。今回は、アルツハイマー型認知症にてみましょう。



認知症は、脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活に支障が出てくる状態をいいます。代表的なものは、アルツハイマー型認知症を含め4つあります。

アルツハイマー型認知症は、認知症の中で一番患者数が多い認知症であり、増加傾向にあり、全体の約70%を占めます。原因ははっきりとしていませんが、脳の神経細胞が徐々に減少し、脳が小さく縮んでいくために起こります。

## アルツハイマー型認知症の経過と症状



※認知症「いっしょがいいね」を支えるガイドブック（監修：横浜総合病院・横浜市認知症疾患医療センター センター長 長田 乾 先生）より

アルツハイマー型認知症は、自身での病気の理解が難しいとも言われています。周りの方による、早期発見（相談）・早期治療が大切です。

症状が軽いうちに気づき、適切な治療や生活習慣を改善することが出来れば、認知症を遅らせたり、症状を改善したりすることができる可能性があります。

しかし、家族や周囲が勧めても本人が受診を嫌がるという場合もあります。家族等だけで抱え込まずに下記相談先を参考にご相談ください。

相談先：医療機関（かかりつけ医、精神科等）市役所社会福祉課、地域包括支援センター等



次回 → 他の認知症についても見てみよう！

安芸高田市社会福祉協議会

安芸高田市地域包括支援センター（本所）

安芸高田市地域包括支援センター（ランチ）

電話・お太助フォン

☎47-1132

☎45-7530